アリスモデルによる分析	
テーマ	区分
なんでも否定する	あなたの現状

こう思っている

自分の意見を言いたい。 自分の意見を言うのが好き。

こういう時

話を聞くとすぐに反対意見を思いつく。 (それ自体は悪いことではない) 相手の意見の背景を考えない。

こうしてる

思いついたことを瞬間に口に出してしまう。 (「でも、——」)

なぜダメ?

自分の意見を否定されて 嬉しい人はいません。 どうしても関係を切れない人以外は 次第に去っていきます。

アリスモデルによる分析	
テーマ	区分
なんでも否定する	めざす目標

こう考えよう

「なんでも否定はやめる」と決意する。

「すぐに反対する」もやめる。 無責任な人ごととして受けとめない。

こうやって

相手は何か言いたいので、 まずはそれを認める。 その気持ちを受けとめる。

こうしよう

一呼吸置いてから発言する。

「短気は損気」

「そうですか」「なるほど」
と相手の意見を認めた上で自分の意見を言う。
否定・反対するだけでなく、
自分の意見をはっきりさせる。
その方が結果的に自分の意見が通ることを体得する。

なぜならば

否定・反対ばかりする「不平不満居士」、 言うだけで行動しない「評論家」 は不要人材で

いずれは窓際族になってしまいます。 「ダメ野党」はいつまでも「ダメ野党」です。 否定・反対だけから何かが実現できたことは ないのです。



【なんでも否定とは】

当テーマでは、「なんでも否定」を以下のように定義します。

相手の発言に対して、

それがあなたに対するほめであっても、批判であっても、

客観的な状況のことであっても、

「いや」「いいえ」と言って、すなおに賛同しないことをいう。

【なぜ、「なんでも否定」をやめた方がよいのか】

人は相手に賛同してもらえないと嬉しくない。

自分の意見を否定されて嬉しい人はいない。

結果として愛される人になれない。

【どうするか】

状況	対応方法
ほめられたら	謙遜の前に
	「ありがとうございます」と言います。
批判されたら	言い訳の前に
	「ご指摘ありがとうございます」と言います。
天候とか客観的なこと	まず「そうですね」と言い、
なら	それから「でも」と自分の意見を言います。

こんな感じです。

「これは良くできてますね」

「ありがとうございます。でもまだまだです」

「まずいよ。ここのところ」

「ご指摘ありがとうございます。

そこはこういうつもりで作ったのですがし

「暑いですね」

「そうですね。でも、昨日よりはましですね」

【どうやってそれを実現するか】

どうすれば、そのように言えるようになるのでしょうか。

相手の語りかけに対して

なんであっても、まず「そうですね」と言うことにします。

機会があるごとに「そうですね」を励行します。

少しずつ反省しながら前進しましょう。

【私の行動改善目標(いつまでにこうなる)】のお勧め (例)

9月30日までに「なんでも否定」卒業!

【日々の行動(こうする)】のお勧め (例)

まず「そうですね」と言う。

【なんでも否定からの脱却参考情報源】

1. いつも否定から入る人の心理5つ

https://ikejo.net/hitei-shinri-10272

どういう心理かを分析して、それを前提に付き合いなさいという論法です。

- 2. なんでも否定する人の心理と特徴 | いつも否定から入る人の対処法 https://shinrigakutamago.blogspot.com/2017/11/blog-post_6.html こちらは相手への対処法も示されています。
- 3. 否定する人の特徴 その心理と付き合い方

https://conciergel.xsrv.jp/173.html タイトルどおりの内容が丁寧に解説されています。

- 5. 相手の意見の反対ばかりする人に対しては逆を突けばいい https://newstyle.link/category13/entry1825.html こちらは対処法として、非常にシンプルな「ギャグ」を述べています。
- 6. 会議が楽しくなるエッセイ 反対意見には対案を示す!

http://www.o-

ta.co.jp/essay/%E5%8F%8D%E5%AF%BE%E6%84%8F%E8%A6%8B%E3%81%AB%E3 %81%AF%E5%AF%BE%E6%A1%88%E3%82%92%E7%A4%BA%E3%81%99%EF%BC %81/

「なんでも反対」の情報というと政治における野党のことばかりです。この小文は本質を述べています。

7. なんでも反対、日本とアメリカ

http://www.kannagawa.com/info/usa.html

これは、本題のテーマではなく、日本とアメリカはいろいろなものやことが反対だ(右側通行・左側通行など)という落とし噺です。